令和7年9月3日
子ども・若者部
児童課
児童相談支援課
保育課
保育認定・調整課

児童福祉法等の改正に伴う関係条例の一部改正について

1 主旨

児童福祉法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律が改正されたため、各条例の一部を改正する条例案を、令和7年区議会第3回定例会に提案する。

2 児童福祉法の改正内容

全国的に保育所等における虐待等の不適切事案が相次いでいる状況を踏まえ、子どもや保護者が不安を抱えることなく安心して保育所等を利用できる環境を整備する必要があることから、施設職員から虐待を受けたと思われる児童を発見した者の通報義務等について、児童福祉法に規定された。

《今回の法改正で追加された虐待の通報義務等の対象施設・事業》

保育所、幼保連携型認定こども園、幼稚園、特別支援学校幼稚部、家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業、認可外保育施設、一時預かり事業、病児保育事業、乳児等通園支援事業、児童自立生活援助事業、放課後児童健全育成事業、子育て短期支援事業、意見表明等支援事業、妊産婦等生活援助事業、児童育成支援拠点事業、母子生活支援施設、児童館

3 提案予定条例

- (1) 世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- (2) 世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- (3) 世田谷区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- (4) 世田谷区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例
- (5) 世田谷区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例
- (6) 世田谷区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例の一部を改正する条例
- (7) 世田谷区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例

4 主な改正内容

	改正する条例	主な改正内容
(1)	世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例	児童福祉法第33条の10第2項及び第3項の追加に伴い、条文中「第33条の10」を「第33条の10第1項各号」に改める。
(2)	世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例	
(3)	世田谷区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例	
(4)	世田谷区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例	
(5)	世田谷区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例	
(6)	世田谷区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例	
(7)	世田谷区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例	<p>①児童福祉法第33条の10第2項及び第3項の追加に伴い、条文中「第33条の10」を「第33条の10第1項各号」に改める。</p> <p>②就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第14条第3項の追加に伴い、条文中「第14条第6項」を「第14条第7項」に改める。</p>

5 改正案

別紙1から別紙7までの新旧対照表（案）のとおり

6 施行予定日

- (1) 上記4 (1) から (7) ① 令和7年10月1日
(2) 上記4 (7) ② 令和8年4月1日

7 今後のスケジュール（予定）

令和7年9月 令和7年第3回区議会定例会（改正条例案の提案）

8 その他（施設職員による虐待の通報等に関する区の対応）

現在、区では、児童養護施設等における被措置児童等虐待については、法令に基づき対応している。また、保育施設についても、通報窓口を明確にし、事実確認や児童福祉審議会への報告等を実施している。

その他の施設・事業も含め、今後発出される予定である国のガイドラインを参考に、各所管課において、通報を受け付ける窓口を設置するなど体制を整備するとともに、虐待の事実確認や児童の安全な生活環境を確保するための必要な措置、児童福祉審議会への報告等について、法令に基づき実施する。

世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例 平成26年9月30日条例第39号</p> <p>第1条～第12条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第13条 放課後児童健全育成事業者の職員は、利用者に対し、法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該利用者の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第13条の2～第22条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u> <u>この条例は、令和7年10月1日から施行する。</u></p>	<p>○世田谷区放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例 平成26年9月30日条例第39号</p> <p>第1条～第12条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第13条 放課後児童健全育成事業者の職員は、利用者に対し、法第33条の10各号に掲げる行為その他当該利用者の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第13条の2～第22条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>

世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例 令和元年10月1日条例第36号</p> <p>第1条～第9条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第10条 児童福祉施設の職員は、入所中の児童に対し、法第33条の10 <u>第1項</u>各号に掲げる行為その他当該児童の心身に有害な影響を与える る行為をしてはならない。</p> <p>第11条～第107条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u> <u>この条例は、令和7年10月1日から施行する。</u></p>	<p>○世田谷区児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例 令和元年10月1日条例第36号</p> <p>第1条～第9条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第10条 児童福祉施設の職員は、入所中の児童に対し、法第33条の10 各号に掲げる行為その他当該児童の心身に有害な影響を与える行為 をしてはならない。</p> <p>第11条～第107条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>

世田谷区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例 令和6年12月9日条例第58号</p> <p>第1条～第13条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第14条 一時保護施設の職員は、入所している児童に対し、法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該児童の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第15条～第36条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u> <u>この条例は、令和7年10月1日から施行する。</u></p>	<p>○世田谷区一時保護施設の設備及び運営の基準に関する条例 令和6年12月9日条例第58号</p> <p>第1条～第13条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第14条 一時保護施設の職員は、入所している児童に対し、法第33条の10各号に掲げる行為その他当該児童の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第15条～第36条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>

世田谷区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例 平成26年9月30日条例第35号</p> <p>第1条～第12条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第13条 家庭的保育事業者等の職員は、利用乳幼児に対し、法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第14条～第51条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u> <u>この条例は、令和7年10月1日から施行する。</u></p>	<p>○世田谷区家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例 平成26年9月30日条例第35号</p> <p>第1条～第12条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第13条 家庭的保育事業者等の職員は、利用乳幼児に対し、法第33条の10各号に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第14条～第51条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>

世田谷区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例 平成26年9月30日条例第37号</p> <p>第1条～第24条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第25条 特定教育・保育施設の職員は、教育・保育給付認定子どもに対し、児童福祉法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該教育・保育給付認定子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第26条～第56条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u> <u>この条例は、令和7年10月1日から施行する。</u></p>	<p>○世田谷区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準等に関する条例 平成26年9月30日条例第37号</p> <p>第1条～第24条 (略) (虐待等の禁止)</p> <p>第25条 特定教育・保育施設の職員は、教育・保育給付認定子どもに対し、児童福祉法第33条の10各号に掲げる行為その他当該教育・保育給付認定子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第26条～第56条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>

世田谷区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例</p> <p>第1条～第8条 (略)</p> <p>(教育及び保育の内容)</p> <p>第9条 認定こども園における教育及び保育の内容は、法第6条の規定に基づき、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年内閣府、文部科学省、厚生労働省告示第1号）を踏まえるとともに、幼稚園教育要領及び保育所保育指針（平成29年厚生労働省告示第117号）に基づかなければならない。</p> <p>2 前項の教育及び保育の内容は、子どもの1日の生活のリズム、集団生活の経験年数が異なること等の認定こども園に固有の事情に配慮したものでなければならない。</p> <p>3 認定こども園は、その職員による教育及び保育の実施に際して、当該認定こども園の子どもに対し、児童福祉法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第10条～第19条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p> <p><u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u></p> <p><u>この条例は、令和7年10月1日から施行する。</u></p>	<p>○世田谷区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件に関する条例</p> <p>第1条～第8条 (略)</p> <p>(教育及び保育の内容)</p> <p>第9条 認定こども園における教育及び保育の内容は、法第6条の規定に基づき、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年内閣府、文部科学省、厚生労働省告示第1号）を踏まえるとともに、幼稚園教育要領及び保育所保育指針（平成29年厚生労働省告示第117号）に基づかなければならない。</p> <p>2 前項の教育及び保育の内容は、子どもの1日の生活のリズム、集団生活の経験年数が異なること等の認定こども園に固有の事情に配慮したものでなければならない。</p> <p>3 認定こども園は、その職員による教育及び保育の実施に際して、当該認定こども園の子どもに対し、児童福祉法第33条の10各号に掲げる行為その他当該子どもの心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第10条～第19条 (略)</p> <p>附 則 (略)</p>

世田谷区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例新旧対照表

改正後	改正前
<p>○世田谷区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例 令和2年3月4日条例第17号</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例（平成11年東京都条例第106号）第2条の規定に基づき世田谷区（以下「区」という。）が処理することとされた就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。以下「法」という。）の施行に係る事項のうち、法第13条第1項の規定により、区における幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準（以下「設備運営基準」という。）を定めるものとする。</p> <p>第2条～第16条 （略） (虐待等の禁止)</p> <p>第17条 幼保連携型認定こども園の職員は、園児に対し、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該園児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第18条～第23条 （略） (他の学校又は社会福祉施設の職員を兼ねるときの職員の基準)</p> <p>第24条 幼保連携型認定こども園は、その運営上必要と認められる場合は、当該幼保連携型認定こども園の職員の一部を他の学校又は社会福祉施設の職員に兼ねることができる。</p> <p>2 前項の規定は、法第14条第7項に規定する園児の保育に直接従事する職員については、適用しない。ただし、他の社会福祉施設の職員に兼ねる場合であって、その行う保育に支障がない場合は、この限りでない。</p>	<p>○世田谷区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例 令和2年3月4日条例第17号</p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例（平成11年東京都条例第106号）第2条の規定に基づき世田谷区（以下「区」という。）が処理することとされた就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。以下「法」という。）の施行に係る事項のうち、法第13条第1項の規定により、区における幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準（以下「設備運営基準」という。）を定めるものとする。</p> <p>第2条～第16条 （略） (虐待等の禁止)</p> <p>第17条 幼保連携型認定こども園の職員は、園児に対し、児童福祉法（昭和22年法律第164号）第33条の10各号に掲げる行為その他当該園児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。</p> <p>第18条～第23条 （略） (他の学校又は社会福祉施設の職員を兼ねるときの職員の基準)</p> <p>第24条 幼保連携型認定こども園は、その運営上必要と認められる場合は、当該幼保連携型認定こども園の職員の一部を他の学校又は社会福祉施設の職員に兼ねることができる。</p> <p>2 前項の規定は、法第14条第6項に規定する園児の保育に直接従事する職員については、適用しない。ただし、他の社会福祉施設の職員に兼ねる場合であって、その行う保育に支障がない場合は、この限りでない。</p>

改正後	改正前
<p>第25条～第26条 (略) 附 則 (略) <u>附 則 (令和7年9月●日条例第●号)</u> <u>この条例中第17条の改正規定は令和7年10月1日から、第24条第2項の改正規定は令和8年4月1日から施行する。</u></p>	<p>第25条～第26条 (略) 附 則 (略)</p>